



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール



びわ湖ホール発・舞台芸術情報誌

2016. Winter NO.

71

Contents

- ワーグナー「ニーベルングの指環」新制作に挑む … P2・3
- びわ湖ホール声楽アンサンブル オペラへの招待『連隊の娘』
- 第62回定期公演『クリスマスの万華鏡』…………… P4
- 木下牧子『不思議の国のアリス』
- アンサンブル・ノマド 21世紀の「動物の謝肉祭」…………… P5
- ピーピング・トム『ファーザー』、二兎社 演劇『ザ・空気』 … P6
- リレーエッセイ
- 究極の救済劇《ニーベルングの指環》(第3回 横原千史) … P7

びわ湖ホール
プロデュース
オペラ

「ニーベルングの指環」序夜

ワーグナー作曲

ラインの黄金

Das Rheingold

全1幕
ドイツ語上演
日本語字幕付

びわ湖ホールが新制作で上演するワーグナーの〈序夜と3日間のための舞台祝典劇〉『ニーベルングの指環』（リング）。第一作目となる序夜『ラインの黄金』制作発表を、10月21日、びわ湖ホールで行いました。



(写真左から) 山中館長、沼尻芸術監督、砂川涼子、ヴィタリ・ユシュマノフ、清水徹太郎

指揮：沼尻竜典（びわ湖ホール芸術監督）
演出：ミヒャエル・ハンペ
美術・衣裳：ヘニング・フォン・ギールケ
管弦楽：京都市交響楽団

〈キャスト〉	4日(土)	5日(日)
ヴォータン	ロッド・ギルフリー	青山 貴
ドンナー	ヴィタリ・ユシュマノフ	黒田 博
フロー	村上敏明	福井 敬
ローゲ	西村 悟	清水徹太郎*
ファゾルト	デニス・ビシュニヤ	片桐直樹
ファフナー	斉木健詞	ジョン・ハオ
アルベリヒ	梶 貴志	志村文彦
ミーメ	与儀 巧	高橋 淳
フリッカ	小山由美	谷口睦美
フライア	砂川涼子	森谷真理
エルダ	竹本節子	池田香織
ヴォークリンデ	小川里美	並河寿美
ヴェルグンデ	小野和歌子	森 季子*
フロスヒルデ	梅津貴子	中島郁子

*…びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー

日本のバイロイトめざす

びわ湖ホール館長 山中 隆

びわ湖ホールはこの度満を持してワーグナーの「リング」を4年かけて上演いたします。琵琶湖は400万年前にできた古代湖。この神々の住まう湖のほとりで、『ニーベルングの指環』の物語が展開します。ぜひ「びわ湖リング」と呼んでください。今回のプロダクションは、びわ湖ホール単独の上演で、当ホールの舞台機構を有効に活用した舞台となります。「日本のバイロイト」と呼んでいただけるよう四部作を成功させたいです。

『ラインの黄金』あらすじ

ライン川の底に眠る超大な力が宿る「黄金」。ラインの乙女から嘲笑されたニーベルング族のアルベリヒは、「愛」を代償に「黄金」を奪い、指環を作る。神々の王ヴォータンが指環を奪うと、激怒したアルベリヒは指環に呪いをかける。ワルハラ城建設の報酬にしぶしぶ巨人族に渡した指環奪還の野望を抱くヴォータン。指環を手にした途端、相争う巨人族。指環の魔力に取りつかれた者たちの熾烈な戦いが始まる。

悲願のリングようやく実現

びわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典（指揮）

「リング」を振ることは指揮者の夢。上演すること自体がニュースになる作品だ。芸術監督に就任して以来「いつかリングを」と提案してきたが、オペラの実績を重ね、ようやく機が熟した。演出のハンペ氏とは、『さまよえるオランダ人』と『タンホイザー』で一緒にしたが、ドイツで流行りのスクランダラスな読み替えの演出とは一線を画し、ワーグナーの音楽とテキストを中心に読み解くという基本姿勢を貫きつつ、新しい技術を使って、新しい舞台を見せられることを実証した。特に『オランダ人』の幽霊船のシーンでは、音楽と映像が完全に一体化するという稀有な体験をした。これこそ総合芸術といわれるオペラの魅力を幾重にも増す舞台。ハンペ氏は現在81歳で世代は違うが、私の同志。演出と音楽の一致というところではいい舞台をお見せできる予感がある。キャストिंगも、国籍やオペラ団体の枠を超えたびわ湖ホールならではのキャストिंगが実現。これからもグローバル・スタンダードなオペラづくりを心がける方針を堅持しながら、いいプロダクションをつくっていきたい。



2016年3月「さまよえるオランダ人」より

2017年 3月4日(土)・5日(日)

両日とも14:00開演 大ホール

2公演セット券(S席)30,000(28,000)円 SS席完売 S席16,000円(15,000)円 A席13,000(12,000)円
B席11,000(10,000)円 C席・D席・E席完売 U30席(30歳以下)3,000円
U24席(24歳以下)2,000円 【全席指定・税込】※()内は友の会会員料金 青少年割引当日券

女神の美しさを声と演技で

砂川涼子(4日 フライア役)

びわ湖ホールでは毎回魅力的な演目に参加させていただいていますが、今回もワーグナーの大作に挑戦する、すばらしい機会をいただき感謝しています。女神という役柄に求められる美しさを、音楽、声、演技、すべてにおいてきちっと表現できるように、ハンペ氏の演出に備えて、しっかり準備してまいりたいと思います。

大好きな日本でワーグナーに初挑戦

ヴィタリ・ユシュマノフ(4日 ドンナー役)

サンクトペテルブルグにあるマリンスキー劇場の若手歌手が所属するアカデミーの一員として来日して以来、日本が大好きになりました。ライブツィヒの音楽大学を卒業後、再び来日し、日本で演奏活動を行っています。びわ湖ホールも、ワーグナーのオペラを歌うのも初めてで、マエストロに感謝しています。

ワーグナーが夢見た舞台をびわ湖で

清水徹太郎(5日 ローゲ役)

演出家のハンペ氏とは、3月の『さまよえるオランダ人』にも舵手役で出演し、一緒にさせていただきました。演出を通して感じたのは、ハンペ氏が現代の舞台技術を用いて、ワーグナーが作曲当時、望んでも叶わなかった理想の舞台を具現化されたことでした。今回もすばらしい仕上がりになると確信しています。



2016年3月「さまよえるオランダ人」より



2012年3月「タンホイザー」より



「ラインの黄金」打ち合わせ。写真中央がハンペ氏。左がギールケ氏。2016年10月5日、スイス チュリヒのハンペ邸にて。

—『ラインの黄金』を楽しむために—

オペラ講座『ラインの黄金』（初級編／全2回）

第1回／12月17日(土) 14:00～16:00 [終了]

「『ラインの黄金』のあらすじと音楽～このフシさえ覚えておけば怖いものなし～」

第2回／2017年1月29日(日) 10:00～11:45

「『ラインの黄金』の壮麗雄大な舞台～映像で比較する演出解釈の違いの面白さ～」

講師：東条碩夫(音楽評論家) 会場：コラボしが21 3階大会議室

チケット料金：全2回通し券 2,000円(税込・自由席)

ワーグナー・ゼミナール(上級編／全3回)

第1回／2017年2月5日(日) 14:00～17:00 講師：三宅幸夫(慶應義塾大学名誉教授)

第2回／2017年2月19日(日) 14:00～17:00

「作品成立事情とテキスト解説」 講師：伊東史明(神戸大学講師)

第3回／2017年2月26日(日) 14:00～17:00

「『ラインの黄金』における思想的背景について」 講師：藤野一夫(神戸大学教授)

会場：びわ湖ホール リハーサル室 チケット料金：全3回通し券 3,000円(税込・自由席)

ブレートク・マチネ

2017年2月12日(日) 10:30～12:30

作曲家や作品の背景をわかりやすく解説し、聴きどころや見どころを紹介。

出演：沼尻竜典 ほか

会場：びわ湖ホール 小ホール

参加費：無料(事前申込不要)

オペラ・ワークショップ

2017年3月5日(日) 10:00～ 大ホール

本番直前の会場で、舞台装置を間近で見学し、演出家らが今回のプランを説明。

出演：ミヒャエル・ハンペ(演出家) ほか

参加費：1,000円(公演チケット提示の方は無料)

現代をえぐる

“老人ホーム”という閉ざされたコミュニティーを舞台に、生と死の境界をさまよう人間の意識下の不安や恐れ、欲望を衝撃的なダンス・パフォーマンスで映し出すピーピング・トムの「ファーザー」。“人気報道番組”というメディアの最前線で、一刻を争う決断を強いられた緊迫の現場をシニカルな視点で描く二兎社の「ザ・空気」。2017年、びわ湖ホールで現代社会を鋭くえぐるダンスと演劇の話題作が相次いで上演されます。



日本・ベルギー友好150周年関連事業

ピーピング・トム

ファーザー

Peeping Tom

VADER

衝撃的な身体表現が現代人を揺さぶる

ベルギー発シュールなダンス・パフォーマンス

ベルギーの著名なダンサー、ガブリエラ・カリーンとフランク・シャルティエが2000年に創設したダンス・カンパニー「ピーピング・トム」。ダンサーの卓越した身体能力から生まれる驚異的な表現、作品によってオペラ歌手やピアニストまで登場する独特の世界観、ツアーの際、現地キャストを動員して舞台に取り込む機動力が注目を集めています。構成・演出を担当するフランク・シャルティエは、モーリス・ベジャール20世紀バレエ団にも一時期所属し、日本文化に対する関心も高く、映画「楢山節考」や「砂の女」からインスピレーションを得たと語っています。

「ピーピング・トム」とは「覗き屋」という意味。その名の通り、人間の意識下の世界を非現実的な妖しさに露わにする舞台は、ベルギーのシュルレアリスムの画家、ルネ・マグリットやポール・デルヴォーの作品を彷彿させ、“動くシュルレア

2017年

3月18日(土) 14:00開演

中ホール

一般3,000円

青少年(25歳未満)2,000円

[全席指定・税込]

構成・演出：フランク・シャルティエ

ドラマツルグ・演出補佐：ガブリエラ・カリーン



リズム”とも呼ばれています。今回上演される「ファーザー」はこれから彼らが取り組む三部作「ファーザー」「マザー」「チルドレン」の第一弾。次第に人間のコミュニティーから遠ざかろうとする「父」が、時に滑稽に、時に神話の中の神のように描かれます。

二兎社公演41

ザ・空気

2年ぶりの新作は、テレビニュースの現場が舞台の『ザ・空気』。 作・演出 永井 愛

若村麻由美

田中哲司

木場勝己

息詰まる報道現場をあぶり出す意欲作!

2017年3月20日(月・祝) 14:00開演 中ホール

S席5,000(4,500)円 A席4,000円 [全席指定・税込]

※()内は友の会会員料金 青少年割引当日券

作・演出：永井 愛

出 演：田中哲司、若村麻由美、江口のりこ、大窪人衛、木場勝己

ポストパフォーマンス・トーク実施

終演後、永井愛によるポストパフォーマンス・トークを行います。

司会：畑 律江(毎日新聞社芸芸部 専門編集委員)

究極の救済劇《ニーベルングの指環》そのライトモチーフと4夜完聴の勧め

私は長年ワーグナーに心酔し、ひたすら聴体験を重ねてきた。彼の畢竟^{ひっきょう}の大作《ニーベルングの指環》のチクルスの実演は5回聴くことができた。とりわけ、ハイデルベルク大学留学中の1988年に聴いたマンハイム（主演ギネス・ジョーンズとロバート・ヘイル）と2000年のパイロイト（シノーポリ指揮）は忘れ難い。その《指環》の音楽を語るとき、ライトモチーフ（示導動機）を抜きには考えられない。ライトモチーフは全4日16時間かかる大作を音楽的にまとめるための道具であり、それを知ることは深い作品理解に繋がる。ワーグナー専門のパイロイト音楽祭では、ライトモチーフを解説する講座も開かれていた（私もそれに倣って音楽サロンでピアノ伴奏によるモチーフの解説をしたことが何度かある）。

4部作に共通する重要なモチーフは「ラインの黄金」「ワルハラ」「契約」「呪い」「ジークフリート」などで、これらは全て《ラインの黄金》に出てくる。大抵は歌詞と同時に少し前に出てくるので、慣れれば歌詞の細かい意味が分からなくとも、劇の進行を概ね理解することができる。また歌詞にないことを暗示するためにライトモチーフを使うこともある。例えば、「ワルハラ」は神々の城のことで、《ラインの黄金》ではそのままの意味で壮大な巨城を示すが、《ワルキューレ》第1幕では、回想で「さすらい人」と言う時に「ワルハラ」モチーフが鳴り、それが神々の長ヴォータンのことであることがわかる。

「呪い」のモチーフも怖ろしい。4部作のタイトル「ニーベルング」は小人族のことで、その代表格のアルペリヒのことでもある。《ラインの黄金》でアルペリヒはラインの乙女からラインの黄金を奪い、愛を断念することで「指環」を作り上げる。「指環」の魔力により世界制覇も可能というので、ヴォータンは自分の地位

が脅かされると考えて、アルペリヒを騙して「指環」を奪う。神々の長にあるまじき悪行だが（そのせいで神々は没落してゆく）、アルペリヒは「指環」に「呪い」をかける。「指環を持たない者は乞い焦がれ、持った者は必ず死ぬ」という「呪い」で、指環のせいで人が死ぬときには、この「呪い」のモチーフが全編を通して必ず鳴る。

しかし、作曲者が最後までとっておいた非常に重要なモチーフがある。「愛による救済」のモチーフだ。「愛による救済」は4部作全体の重要なテーマであり、大作の最後に美しく鳴り響く。長時間巨大な作品に付き合っ、その最後の最後に出てくる至高のモチーフが、心にどれほど大きな感動をもたらすことか。まさに至福の時である。この権力闘争のドロドロとした大作を聴き通すのは、ある意味で苦しみでもある。それが最後に「愛」によって「救済」され、究極のカタルシスをもたらす。それは4部作全てを聴いた者だけが享受できる楽しみだ。湖国の皆様と共に味わいたい。

《ラインの黄金》では重要なライトモチーフがほとんど提示される。序夜ということで本編3作よりもかなり短いが、スペクタクルという点では最高である。ライン河の河底から天上の神々の世界、地底の小人族の世界から再び神々の光り輝くワルハラ城へ。そこには大蛇も巨人族の死闘も雷光も虹の架け橋もある。このスペクタクルなワーグナーの音楽を、ライトモチーフをたよりに存分に楽しみたい。

＊ライトモチーフ…オペラなどの楽曲中で特定の人物や状況と結びつけられ、繰り返し使われる短い主題や動機。

Profile

よこはらせんし

横原千史

音楽学者・音楽評論家。西洋音楽史、ベートーヴェンを研究。大阪大学大学院博士課程修了。ハイデルベルク大学留学。大阪音楽大学、京都市立芸術大学大学院、帝塚山学院大学などの講師を歴任。著書『ベートーヴェンピアノ・ソナタ全作品解説』等。『レコード芸術』『音楽現代』『グランドオペラ』『音楽の友』『ぶらあぼ』などに批評・エッセイを執筆。音楽クリティッククラブ、関西ベートーヴェン協会等の会員で、文化庁芸術祭(企画委員)、大阪文化祭等の審査員。ワーグナー協会会員。

美の女神フリアを連れ去る巨人たち『ラインの黄金』より アーサー・ラッカム画

火の神ローゲ『ワルキューレ』より アーサー・ラッカム画

ワーグナーが考案したホルンとチューバの中間の楽器、ワーグナーチューバ。『ラインの黄金』で初めて使用された。

『指環』のために新たな金管楽器を考案したワーグナー

6

7

一般会員

お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

【一般会員】年会費2,500円(税込)
【クレジット一般会員】年会費2,379円(クレジットカード年会費1,350円含・税込)

サポート会員

お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

年会費 一口につき10,000円(税込)

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待やオペラ公演のゲネプロにご招待など、お得にお楽しみいただけます。

特別会員

お問い合わせ 広報マーケティング部

TEL.077-523-7140

《特別会員》のみなさま

株式会社秋村組/アノマネジメンサービス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/一ノテクス株式会社/いなみ矯正歯科/上原恵美/エアスペンサー株式会社/株式会社栄光社/エールコーポレーション株式会社/SMBC日興証券株式会社大津支店/NTT西日本滋賀支店/園成寺琵琶湖堅田ふれあいパーク/大谷蔵公認会計士事務所/大津商工会議所/おかもと眼科クリニック/株式会社奥田工務店/オプテックス株式会社/オムロン株式会社/オリックス・ファシリティーズ株式会社滋賀支店/株式会社滋賀銀行/株式会社滋賀信用金庫/京都信用金庫滋賀本部/京都中央信用金庫/株式会社京都西川/株式会社きんでん滋賀支店/株式会社キントー/京滋舞台芸術事業協同組合/甲賀高分子株式会社/株式会社コングレ/株式会社世川組/ささみ法律事務所/株式会社佐藤総合計画関西事務所/三協高圧株式会社/三精テクノロジーズ株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県信用金庫協会/滋賀トヨペット株式会社/滋賀トヨペット株式会社滋賀富士通ソフトウェア/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社J E U G I A /公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和バルブ製作所/株式会社スマイ印刷/成安造形大学/瀬田医院/総合警備保障株式会社滋賀支店/株式会社そごう・西武 西武大津店/ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場/株式会社ダイフク/ダイワエレックス株式会社/大和証券株式会社京都支店/タカヒサ不動産株式会社/株式会社田中石材/たねやグループ/ちばレディースクリニック/株式会社D G コミュニケーション/thymos/株式会社天下一品/東京海上日動火災保険株式会社滋賀支店/株式会社ナカワ/株式会社西浦商店/日新製菓株式会社/日新製菓工業株式会社/株式会社ニッセイコム/日本観光開発株式会社/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メンテナンス株式会社大津支店/野村證券株式会社大津支店/パワ・クリエイティブ株式会社/長谷川公認会計士事務所/パナソニックESエンジニアリング株式会社近畿支店/株式会社バルコ大津店/公益財団法人ハンク文化振興財団/BSCウォーターズスポーツセンター/株式会社日立建機ティエラ/びわ湖大津プリンスホテル/琵琶湖汽船株式会社/びわ湖放送株式会社/株式会社琵琶湖ホテル/兵神装備株式会社滋賀事業所/ホテルテトラ大津/ホテルブルーレーク大津/株式会社松村電機製作所/西支店/豆藤/株式会社みずほ銀行/三菱樹脂株式会社/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/南草津野村病院/宮川印刷株式会社/株式会社村田製作所野洲事業所/明治安田生命保険相互会社滋賀支店/山科精器株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社大阪営業所/株式会社ヤマプラ/立命館山中学校・高等学校/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール

(五十音順・敬称略・一部非掲載/2016年12月1日現在)

びわ湖ホールの舞台芸術に関する諸事業に賛同し、これを支援してくださる方々です。

主催公演へのご招待

チケット優先予約

ゲネプロにご招待

◎メインロビーへの企業名掲示 ◎びわ湖ホールHP、「湖響」への企業名等掲載およびリンク敷設 ◎びわ湖大花火大会観覧ご招待など

※サポート会員の特典もすべてご利用いただけます。
詳しくはホームページをご覧ください。

年会費 一口につき100,000円(税込)

シアターメイツ 会員募集中

入会金・年会費 **無料**

びわ湖ホール シアターメイツ特別顧問 田中俊彦氏

6歳以上18歳以下の方ならどなたでも入会できます。

特典1 シアターメイツ優待公演は青少年チケット料金の半額

特典2 シアターメイツ会員限定イベントに参加できる

特典3 ご入会時に、劇場を楽しむためのオリジナルブックをプレゼント

さらに びわ湖ホール主催公演ご来場で、1ポイント進呈♪
5ポイント集めると、スペシャルプレゼント

ご入会方法など、詳しくはHPをご覧ください。

ちよっといいモノ びわ湖ホール グッズ紹介

Goods

びわ湖ホールでは、舞台芸術サロンでセレクトグッズを販売しています。今回はその中から、滋賀県生まれで、自然の造形をハサミで鮮やかに切り取るペーパーカット・アーティストの今森光彦さんがデザインしたクリアファイルをご紹介します。

サンショクキムネオハシは南米に住む鳥。強い生命力がみなぎる大胆な色使いで、花や果実を食する鳥の生態まで鮮やかにデザインされています。フレモコウは「源氏物語」にも登場するほど古くから日本で親しまれている秋草です。花は洗ひ赤色で、風に揺れる姿が可憐です。花の色をイメージした深いボルドー色に季節感が漂います。

クリアファイル(写真真) A4サイズ サンショクキムネオハシ 216円(税込) (写真真) A5サイズ フレモコウ 216円(税込)

びわ湖ホール 舞台芸術基金 ~舞台芸術へのご寄付をお待ちしています~

皆さまから頂戴したご寄付は、基金として大切にお預かりし、3種類の事業に活用してまいります。(ご寄付の際にお選びいただけます)

- 1. びわ湖ホール声楽アンサンブルへのご支援**
びわ湖ホール声楽アンサンブルの様々な公演活動やアンサンブルの育成に関する事業に活用させていただきます。
- 2. 「次世代育成事業」へのご支援**
子どもや若い人々を対象とした様々な自主事業や新たな観客やアーティストの育成に関する事業に活用させていただきます。
- 3. 「舞台芸術全般」へのご支援**
幅広く舞台芸術をお楽しみいただける機会を提供するびわ湖ホールの自主事業全般に活用させていただきます。

■インターネットでお申込み＆クレジットカードによる決済で簡単にお手続きいただけます。
<https://www.biwako-hall.or.jp>
■金融機関からもお振込みいただけます。

★1~3以外の寄付に関することも承ります。
★公益財団法人びわ湖ホールは、税額控除対象法人としての証明を受けています。舞台芸術基金への個人からの寄付金については確定申告により、「所得控除」または「税額控除」のどちらか有利な優遇税制が適用いただけます。

<お問い合わせ>
びわ湖ホール 広報マーケティング部
TEL.077-523-7140

チケットのお求めはお早めどうぞ。



インターネット予約 <https://www.biwako-hall.or.jp>

携帯電話、スマートフォン(iPhone標準ブラウザ、Android標準ブラウザ)からもチケットをご購入いただけます。
詳しい推奨環境に関する表示は<http://www.2.biwako-hall.or.jp/mobile/env.html>に記載しております。
携帯電話、スマートフォンの方はhttps://www.2.biwako-hall.or.jp/eticket_mobile/をご利用ください。
※パソコンにて登録されたユーザーID、パスワードはそのままお使いいただけます。



電話予約 チケットセンター

TEL.077(523)7136

10:00~19:00/火曜休館
※休日の場合は翌日



窓口販売

2階チケットセンター

10:00~19:00/火曜休館
※休日の場合は翌日

※チケット料金は消費税込の価格を表示。 ※()内は友の会会員料金。 ※一部公演を除き全席指定。 ※一部公演を除き6歳未満のお子様はご入場になれません。
【青少年割引当日券の取扱い】 青少年割引当日券がある公演は、公演当日に残席がある場合に限り、青少年(25歳未満)の方に、半額で当日券を発売いたします。SS~E席のみ。U30~U24席は除く。※劇場窓口のみ取扱い。学生証など年齢のわかるものを提示ください。
【シアターメイツ優待公演】 シアターメイツチケットはびわ湖ホールチケットセンターのみの取扱い(電話・窓口のみ)。



《駐車場の案内》有料849台 7:00~23:00
料金:4時間まで毎時210円

滋賀県立芸術劇場

《アクセス》 大阪から新快速で約40分、京都から約10分
名古屋から新幹線/京都駅のりかえで約60分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分またはバス約7分(びわ湖ホール下車)
●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

びわ湖ホール

びわ湖ホール

検索